

大正製薬リポビタン 第45回全国選抜高校テニス大会北海道地区大会

兼 第44回北海道高等学校秋季テニス大会

開催要項

主催 北海道テニス協会
共催 北海道高等学校体育連盟
主管 北海道高等学校体育連盟テニス専門部 苫小牧テニス協会 北海道高等学校体育連盟室蘭支部
後援 苫小牧市 苫小牧市教育委員会
協賛 アメアスポーツジャパン株式会社 Wilson

1 期日 令和4年10月11日(火)～10月14日(金) 雨天等順延の場合は10月15日(土)を予備日とする。
10月11日(火) 9時00分 公式練習開始
15時15分 監督会議 (北海道苫小牧東高等学校 視聴覚室)
16時15分 開会式・抽選 (苫小牧市緑ヶ丘公園庭球場)
10月12日(水) 8時00分 練習開始, (団体戦1R)
10月13日(木) 8時00分 練習開始, (団体戦2R・3R)
10月14日(金) 8時00分 練習開始, (団体戦SF・F・順位決定戦)
競技終了後 閉会式

2 会場 苫小牧市緑ヶ丘公園庭球場 [苫小牧市清水町3丁目3-26 Tel: 0144-36-1181] (砂入り人工芝コート16/20面)

3 種目 (1) 男子 団体戦
(2) 女子 団体戦

4 競技規則 国際テニス連盟規則に準ずる。(ただし、道高体連テニス専門部で定めるローカルルールを採用する)

5 参加資格 (1) 北海道高等学校体育連盟に加盟している生徒で、支部大会に参加し全道大会参加の資格を得た者。
(2) 北海道テニス協会登録校の選手であること。
(3) 高体連主催大会参加者災害補償制度に加入している者、または、加入の意思のある者。
(4) 平成16年4月2日以降に生まれた者で、当該校の1・2年に在学中の者。

6 引率責任者 ①引率責任者は、校長の認める当該校の教員とする。
監督・引率責任者は、参加生徒全ての行動について責任を負う。
②監督・コーチは校長から委嘱された「部活動指導員」(学校教育法施行規則第78条の2に示された者)も可とする。但し、北海道高体連会長に事前に届け出ること。
③監督・コーチが外部指導者の場合は、傷害・賠償責任保険(スポーツ安全保険等)に必ず加入することを条件とする。

7 大会参加料 1チーム20,000円

8 チームの編成・参加数

【編成】

(1) 編成は、監督1名・選手7名以上9名までとマネージャー1名以内とし、選手については各支部予選に登録された選手以外の登録、参加は認められない。ただし、不戦敗規定により、4名からの出場を可能とする。
大会申込書の主将の欄には、団体戦登録選手の中から主将を選んで記入すること。

(2) 各高校の実力順とし、支部大会の団体登録順位を変更してはならない。ただし、支部大会で個人戦シングルスが行われている場合、その結果に応じた登録順位の変更はしなければならない。

※ 札幌支部はベスト16、その他の支部は開催支部枠を除き団体2～3校支部はベスト8、団体1校支部はベスト4以上の成績を残した選手は、結果に応じた登録順位にしなければならない。

【参加数】

各支部の参加数は、今大会においては令和4年5月の各支部大会参加校数に応じて道高体連テニス専門部が決定する。今大会、室蘭支部は開催支部枠として、男女とも各1を加えた数とする。

各支部補欠校を決めておき、参加校数に満たない場合は、道専門委員会で確認した順番で参加校の補充を行う。

- 9 競技方法
- (1) 試合は、ダブルス2組、シングルス3本のトーナメント形式とし、初回戦は勝敗にかかわらず行える試合のすべてを行う。(ただし、天候や試合進行の状況により変更することがある)
 - (2) 試合はシングルスNo1、ダブルスNo1、シングルスNo2、ダブルスNo2、シングルスNo3の順序で行う。
※ 一試合の中でシングルスとダブルスに重複して出場することはできない。
7人に満たないチームとの対戦においては、登録人数の差による勝敗規定によって勝敗を決める。(7名以下のチームは、まずはS3が不戦敗となる。S1、D1、S2、D2の行えるところまで行う。)
 - (3) 審判はSCUで行う。
 - (4) ベンチコートは、1コートにつき監督または登録選手1名までとする。
 - (5) 試合は全て1セットマッチとし、各試合とも6ゲームズオール後ITF方式タイブレークを採用する。
 - (6) 使用球はウイルソン・USオープン・エクストラ・デューティーとする。

10 選手変更 【選手変更・欠場】

- (1) 『怪我・疾病・忌引き・見学旅行』が理由の場合に限り、監督会議までであれば選手変更・欠場ができる。
※ 成績不良や指導事故、他の学校行事が理由での選手変更は認めない。
選手変更・欠場の必要が生じた場合は、速やかに各支部の専門委員へ報告し、各支部の専門委員は道専門委員に報告して許可を得ること。
- (2) 選手変更・欠場の理由が回復した場合でも、選手変更をした大会期間は該当選手を再登録することはできない。
※ 今大会を勝ち進み、次の大会(全国大会)に進出した場合、該当選手を再登録することができる。
- (3) 監督会議後の選手変更・欠場は一切受け付けない。

【選手変更における注意事項】

- (1) 選手変更・欠場を申し出る場合は、学校長の承認を必要とする。
※ 選手変更・欠場申請書の様式は、道専門部のホームページよりダウンロードした登録選手変更願を使用すること。また、急な場合は後日申請書を提出してもよい。
※ 次の大会に進出し、再登録する場合も学校長の承認を必要とする。
- (2) 選手変更・欠場で抜けた選手の登録順位は下から詰め、新しく登録する選手を最下位の登録順位とする。
- (3) 再登録する場合の対象選手は、抜けたときに新しく登録した選手とし、再登録の際の登録順位は参加申し込み時の登録順位に戻さなければならない。

【登録選手の抹消】

- (1) 登録選手を抹消した場合、抹消した選手の登録部分は空欄とする。
- (2) 登録選手を抹消した場合、再登録はできない。

11 申込方法

- (1) 参加校の顧問は、参加申込用紙を9月5日(月)以降に、北海道高体連テニス専門部のホームページ(<http://www.do-tennisen.org>)からダウンロードし、支部予選の結果をもとに参加申込書に必要事項を記入し、9月14日(水)の正午までに、各支部の専門委員にメールで送付すること。
※ 大会が終了していない支部は別途の締切り(参加校は大会終了翌日、専門委員は翌々日)あり。
- (2) 各支部の専門委員は、団体登録順位や必要事項を確認した上で、「各校の申込書」と「各支部の個人戦の順位表」を、9月15日(木)の正午までに、道高体連テニス専門部・申し込み担当(札幌啓北商業高校・長永勝利 メールアドレス hokkaido_tennisen@yahoo.co.jp)へ、メールで送付すること。
なお、職印の入った正式の申込書は、監督会議の前に、本部に提出すること。
- (3) 登録順位については、「8【編成】(2)」を参照すること。※コロナ関係は専門委員に要相談。
- (4) 「各校申し込み締切」 9月14日(水)正午必着 各支部の専門委員へメールで申し込み。

- (5) 「各支部専門委員申し込み締切」 9月15日(木) 正午必着 申し込み担当へメールで申し込み。
(6) 大会参加料については、9月22日(木) までに下記の口座に振り込むこと。(振込手数料は、各校でご負担ください)

送付された要項で確認してください

注意① 依頼人名には「学校名」「男女」を記入してください。特に、校名の「北海道」は不要です。

注意② 顧問名での振り込みはしないでください。

注意③ 男女合わせての振り込みは可能です。例…「札幌清田男女」(サッポロキョタダンジョ)など。

- 12 諸会議 9月30日(金)に、道高体連テニス専門委員会を行う。
- (1) 各支部専門委員は、支部予選の結果記録1部とプログラム(団体登録選手一覧が記入されているもの)を専門委員会(9月30日)に提出すること。
- 13 表彰等 (1) 3位(ベスト4)まで表彰する。
- ＜※ 準決勝で敗れた2チームにより順位決定戦①を行い、この試合の勝ったチームと決勝で敗れたチームが対戦済みの場合は決勝で敗れたチームを準優勝とし、未対戦の場合は順位決定戦②を行い、勝ったチームを準優勝、敗れたチームを3位とする。＞
- (2) 男子・女子ともにベスト4に入った4チームを、令和5年3月に福岡市で開催される第45回全国選抜高校テニス大会への北海道からの推薦校とする。この大会の出場校は、令和5年1月末に開催される選考委員会で決定する。
- 第45回大会は、北海道地区からは男女各3校出場予定。
[主催：(財)日本テニス協会、(財)全国高等学校体育連盟]
- (3) (2)の大会は記念大会であり、個人戦シングルスも開催される。これは、団体戦に出場するチームのNO.1登録選手と、団体戦に出場しないチームの選手1名で行われる。個人戦推薦選手は、10月10日時点の北海道テニス協会北海道ジュニアランキングポイントの上位5人(各校1人まで)とする。
- 14 その他 (1) 大会における全ての事項についての質疑は監督または引率責任者に限られる。
(2) 試合のルールや注意事項など、大会に出場する上で重要な説明や連絡事項があるため、監督は必ず監督会議に参加すること。大会に関して検討を要する質疑事項がある場合は、必ず各支部の専門委員を通した上、6月または9月の道専門委員会で検討することとする。
(3) 試合の服装はテニスウェア(ゲームシャツ)とする。また、ガットマークは禁止する。
(4) 天候の状況により、止むを得ずコート(サーフェスを含む)の変更をする場合がある。
(5) 大会は高等学校教育の一貫であることを踏まえていることから、著しく他に影響を与えるような髪色の染色や華美な装飾品の着用(ピアス・アクセサリー等)は禁止する。
(6) **試合中の応援は、拍手のみとする。**
※ 必要に応じて、ローピングアンパイアから注意指導を行う。
(7) 監督もポイント間は拍手のみとする。(×ナイスサーブ、ナイスラリー等)
(8) 抹消選手については、必ず監督会議の前に支部専門委員まで連絡しておくこと。
(9) 団体戦において、登録選手は控え選手も整列・挨拶すること。マネージャーはコートに入らないこと。